

青枯病

【学名：*Ralstonia solanacearum*】



写真1 トマトの末期症状



写真2 維管束部分の褐変



写真3 切断部分の菌泥

【被害と発生生態】

- ・被害作物…トマト・ナス・ピーマン等，100種類以上の作物で発生が見られます。
- ・発生時期…晩春から秋の高温期（地温17～30℃），特に夏場が多くなります。
- ・発生好適条件…高温・多湿のほ場。逆に，乾燥には弱い特徴があります。

【見分け方】

- ・日中に株が急に萎れ，葉が緑色のまま枯れます。
- ・被害が進むと，下葉から枯れあがります。
- ・植物体の地際部を切断すると，維管束部分が褐変している状況が確認できます。
- ・切断した地際部を水につけると，切断部分から白濁液（菌泥）が流出します。

【対策】

- ・発病した株は抜き取り，ほ場外へ処分してください。
- ・高畝や額縁明渠など，ほ場の排水対策を行ってください。
- ・抵抗性品種や抵抗性台木を活用すると効果的です。
- ・土壌消毒を行うと被害が軽減できます。
- ・傷口から細菌が侵入するため，管理作業を行ったハサミや手指を消毒してください。

参考文献

米山伸吾・草刈眞一・柴尾学，病気・害虫の出方と農薬選び，農山漁村文化協会